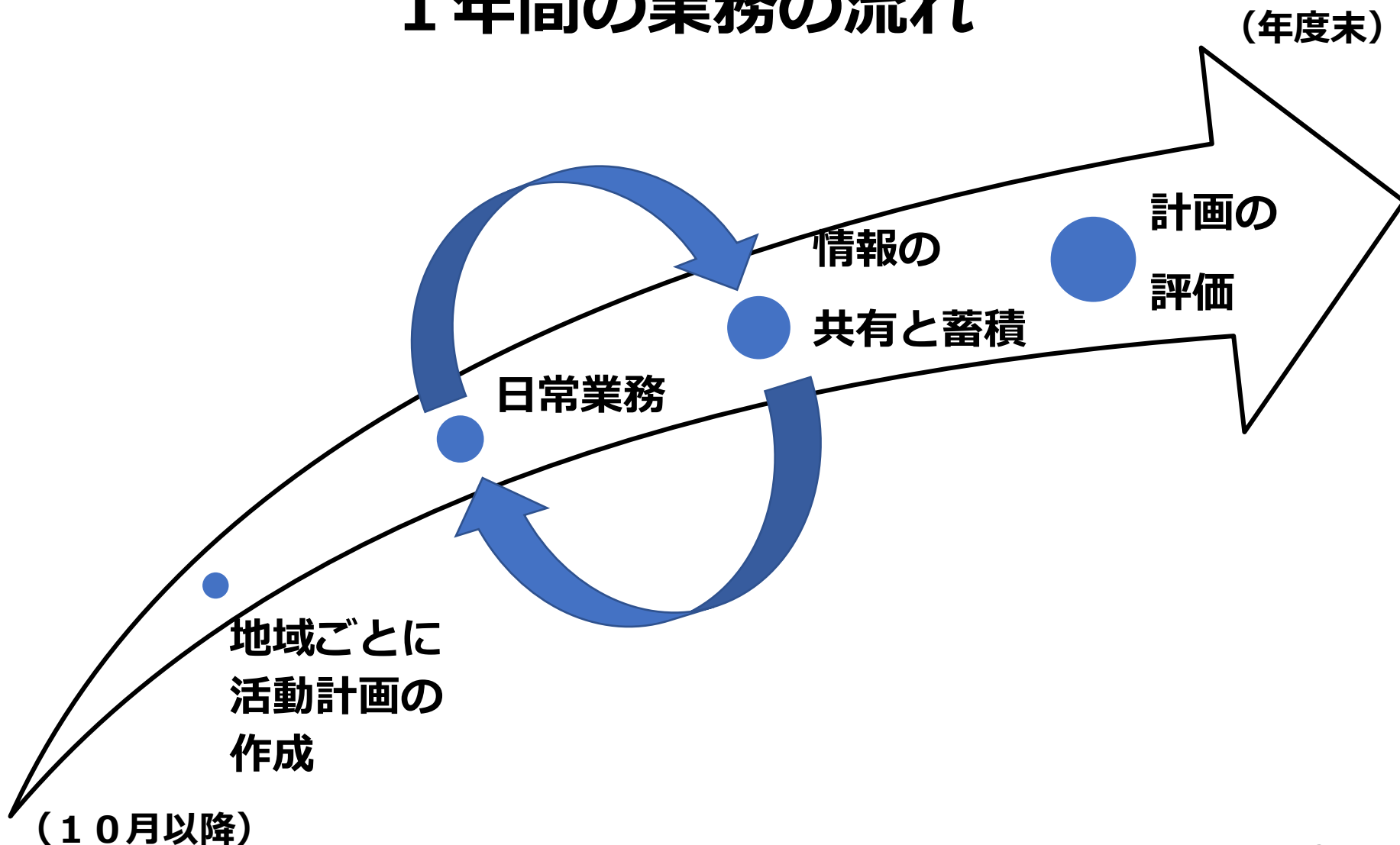


生活支援コーディネーターの活動と 協議体の連携について

第二層生活支援コーディネーター 1年間の業務の流れ



総合事業のガイドラインに示された 生活支援コーディネーター6つの役割

	一層	二層
・ <u>地域資源及び生活ニーズの把握</u>	○	○
・ 地域に不足する生活支援サービス等の創出	○	○
・ 生活支援サービス等の担い手の養成	○	○
・ 生活支援サービス等の担い手が活動する場の確保	○	○
・ 事業主体間の情報共有及び連携強化	○	○
・ 地域支援ニーズと事業主体の活動のマッチング		○

☞それぞれの役割（機能）について、各圏域内の小地域（町）ごとに第二層の生活支援コーディネーターが活動計画を作成 3



情報の共有と蓄積

Everyday

生活支援co同士の
打合せ

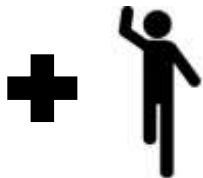
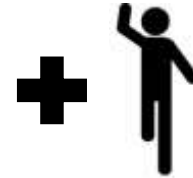
2week


清雅包括
エリア

社協包括
エリア

信愛・市包
括エリア

各地域包括支援センター内で
地域情報の共有

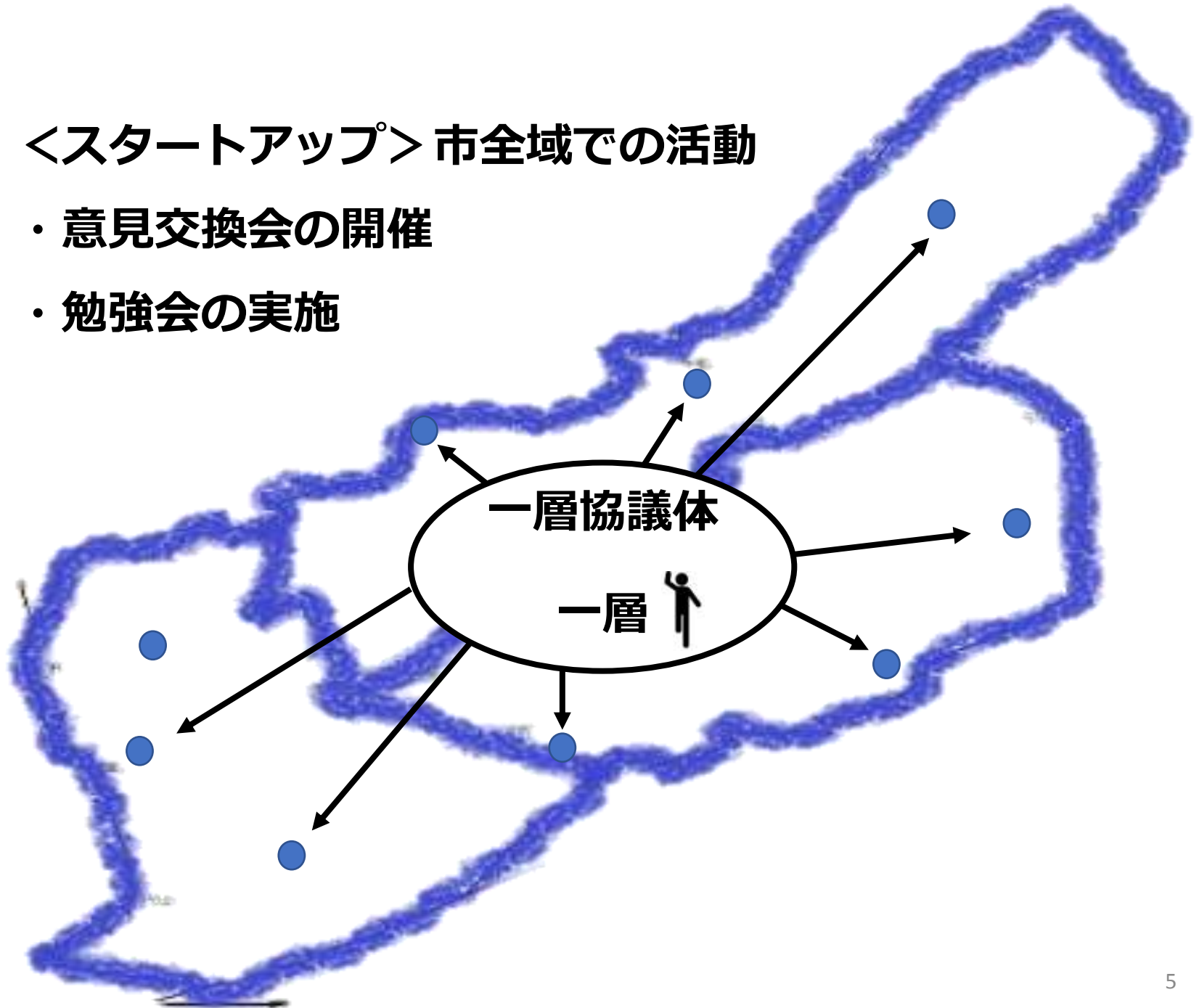


 生活支援コーディネーター

Everyday

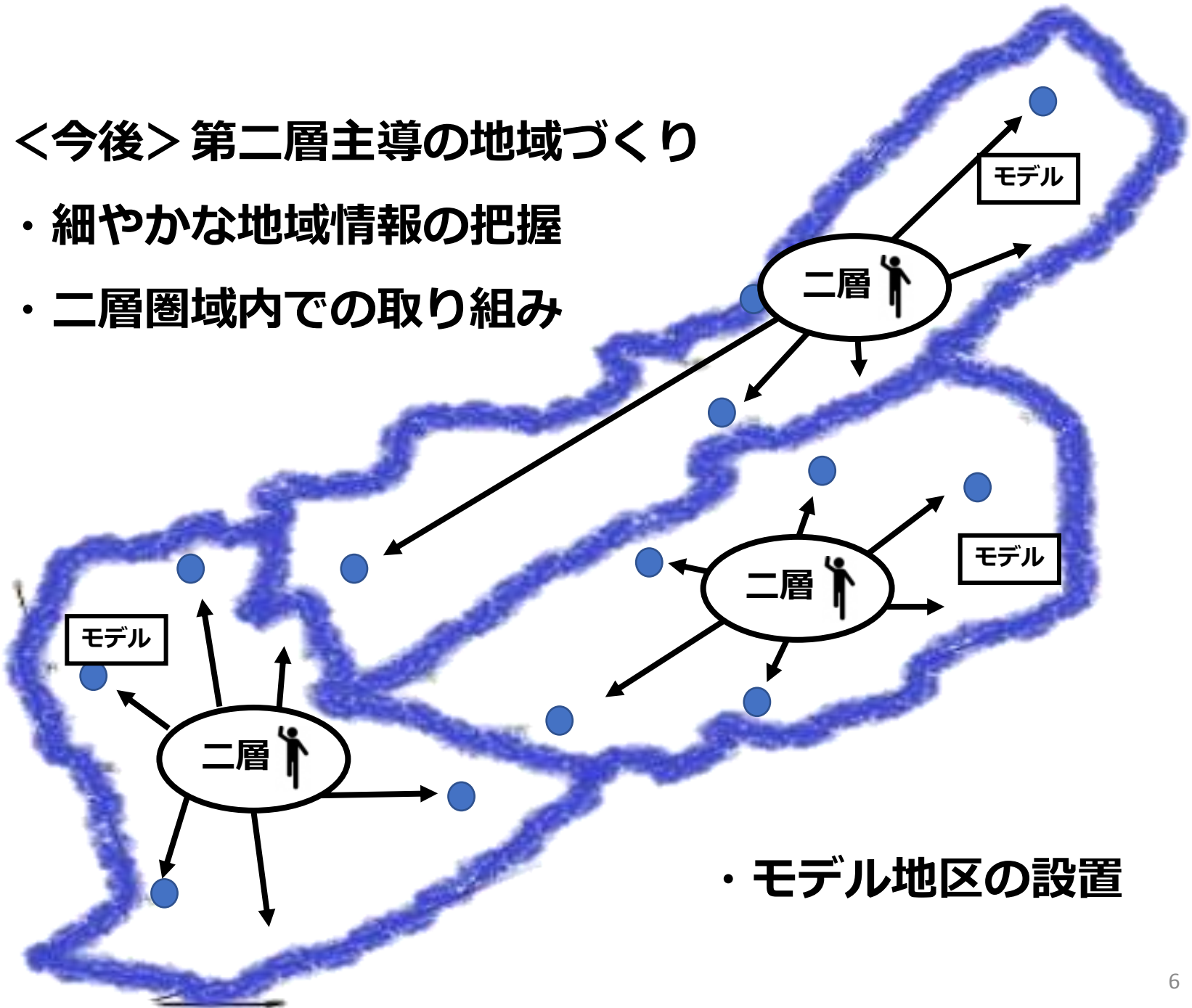
＜スタートアップ＞市全域での活動

- ・意見交換会の開催
- ・勉強会の実施



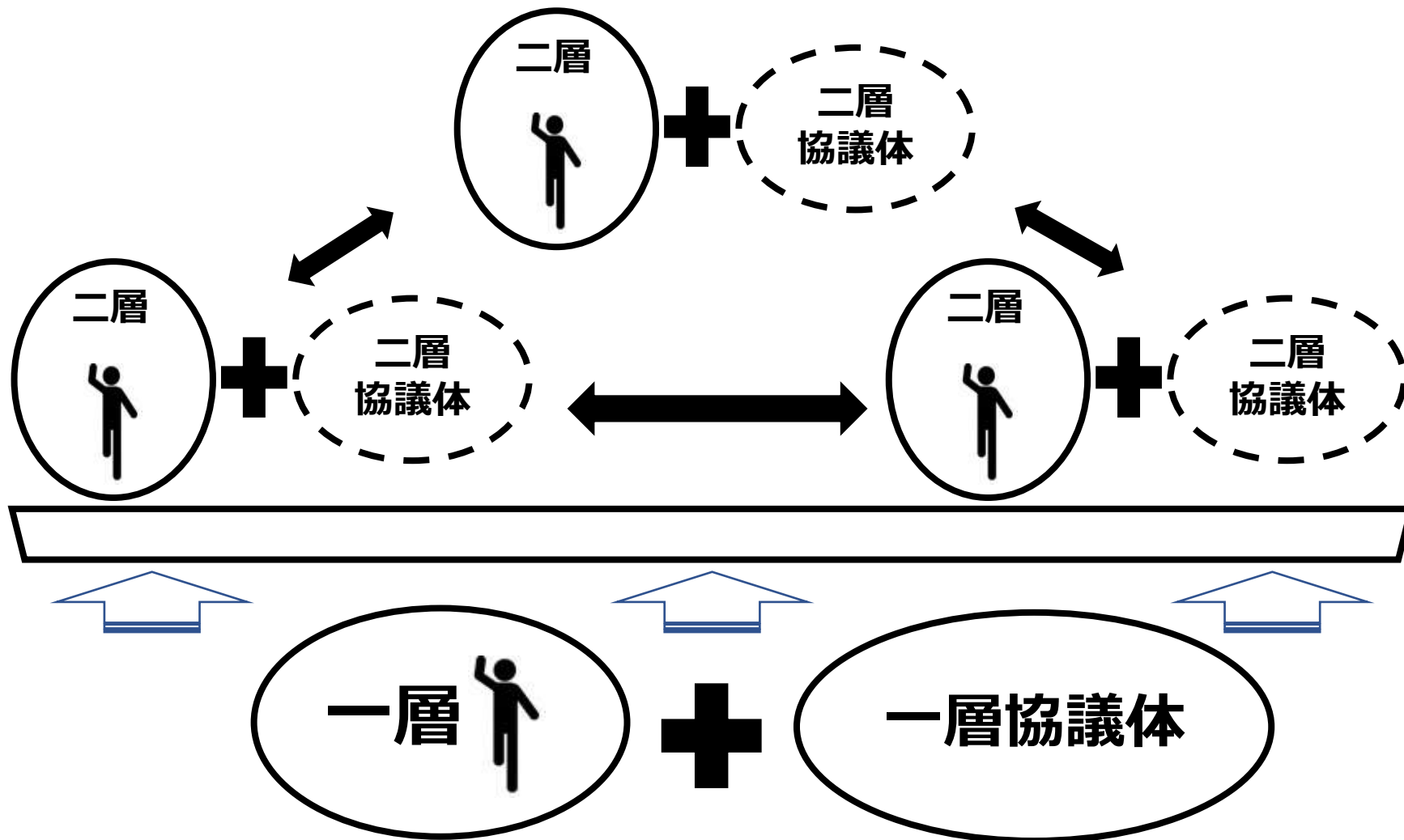
＜今後＞ 第二層主導の地域づくり

- ・ 細やかな地域情報の把握
- ・ 二層圏域内での取り組み



- ・ モデル地区の設置

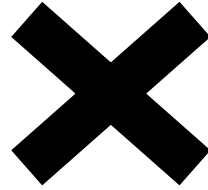
一層と連携し、相互に補完しあった活動



一層が二層生活支援コーディネーターの活動をサポート



市内の生活支援
コーディネーターが
蓄積した情報



二層圏域内での活動

 協議体の委員が把握している情報

生活支援コーディネーターが把握している情報

2つを活かした地域づくりの展開